



「ピー」
 笛がなった。
 大声をたてて走った。
 走っても、
 走っても、
 ぼうしは、とれない。
 とれる…と思った時、
 笛がなった。
 「赤あ」
 「ばんざい」
 飛びあがった。

倉橋裕美子

昭和51年7月1日 / 編集・発行 / 岡崎市教育委員会



(自主的な業間あそび - 秦梨小)

— 教育随想 —

教育と医道

巴 一 作



国語教育の実態に首をかき上げたくなくなりす。

現代は塾ばかりで入試のためのみの勉強が強要されており、ほんとうにわれわれが必要とする常識的かつ基礎的な知識を授けることが、なおざりにされているのではないのでしょうか。

私にはふたりの娘があり、孫が五人あります。姉の方は子どもの教育を自然のまま子どもの伸びるままにまかすといっております。妹の方は、現代のいわゆる教育ママのタイプで幼稚園の頃からすでに音楽塾へ、いやがる子どもを通わせて一生懸命お尻をたたいておられます。この二つの異なった行きかたが将来どういう結果になって現われるのか、実は内心期待をしておるのです。

私は医師ですが、近年、医は仁術でなくて算術だ、などと好ましくからね言葉がささやかれています。現代の医療体制のゆがみ(ひずみ)が出ているためと思いますが嘆かわしいことです。昔から「医者には単なる科学者であってはならない。仁者でなければならぬ」と教えられてきました。そういう医道の根本を教える科目が医学教育のカリキュラムのなかにとり入れられるべきではないでしょうか。さらにさかのほれば、小学生の頃からすでに昔の修身のような教科(もちろん軍国主義的、ファッショ的であつてはならないけれども)を重視し、力を入れて教育されるよう強く望むものであります。

(市立岡崎病院長)

ともばたらき

●ともばたらき一年

中山 秀 昭



三面鏡

ともばたらき生活四か月。結婚後も彼女が教員をやめずに始めた生活である。帰宅は、通勤に時間のかかる私が遅くなることが多い。その時すでに食事の準備ができています。私は夕食後すぐに次の日の準備、彼女はあとかたづけにとりかかると。

男女の違いを考えることがある。たまた早く帰った時下宿時代に鍛えた料理の腕をふるったり、テストの採点や学級通信の切り切りを手伝うこと以外同じ仕事につきながら、なぜ私の方が家事をやらなくてすむのかと。それは昔からのしきたりなのだろうか。それとも、私のずるさからなのだろうか。(福岡中)

●同業のよき

白井 絃子

あつという間に過ぎた十四年間。ふり返ってみると、この間には、いろいろなことがありました。二男が、交通

私は教育者ではないので、現代の教育に関して論じたり批判したりする資格はありませんが、日頃私なりに感じている二、三の事柄について述べさせていただきます。

私の病院には、准看護婦養成施設として附属准看護婦学院があります。毎年、中学卒の生徒を試験して入学させております。口答試験のとき、学科試験の成績を参考にしなが、簡単な数学の問題を質問して見る場合があります。そんな時数学の基礎が出来ていないのに驚かされることしばしばあるのです。今の中学校のカリキュラムの具体的な内容は知りませんが、戦前われわれが受けた教育にくらべてかなり程度の進んでいること

は間違いないと存じます。それにもかかわらず意外に基礎的な知識が欠けている事実はなぜでしょうか。私の想像では、そのカリキュラムがかなり上位の成績の生徒に合わせて作られているために、中位またはそれ以下の生徒はついて行けないのではないのでしょうか。

私はまた高校卒の生徒を入学させて教育する公立の高等看護学院で専門科目の講義を受け持っています。科目の講義を終了後筆記試験を実施します。その答案を読む時感じるのには、誤字があまりにも多いことです。漢字が書けない。書いてもでたらめな当て字で書いてある。新制高校卒といえ、旧制の高等学校の二年か三年生に相当するわけですから、今の



水辺を彩る雑草たち

おどろく。(恵田地区)

・ジュンサイ

池に生える多年草。葉はだ円形で水に浮ぶ。若い茎や葉は寒天質の粘液に包まれ食用にされる。(小呂町のため池)

●湿地生の植物

・ハルリンドウ(ミズギキョウ)

二年生の小さな草。葉は皮針形で六月ごろ青紫色の愛ら

しい花を上に向けて開く。水ごと一しよに小鉢に入れ机の上にもかざられたらいかがですか。

(桑谷山のふもとの沢)

・モウセンゴケ・コモウセンゴケ

根生葉を有する多年生草本。葉はしやもじ形で赤色をおびた腺毛がある。その葉で捕虫し粘液を分泌し消化する食虫植物である。(恵田地区、東公園)

・サギソウ

陽の当る湿地にはえる多年生草本。花は純白でとても優美である。白鷺が飛んでいる姿に似ているところからこの名がつけられたとか。私も恵田地区の山間でこの花に接してより魅せられて本年は岡崎小の太田先生より球根をいただき、わが子のようにだいに育て

ている。

・カヤツリグサのなかも

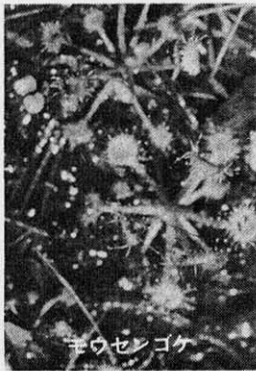
田のあぜを歩いていて多く目につくのがこのなかもで、大部分は多年生の草本。特徴は茎が三稜形をしていること。幼い頃この草で蚊張つりをして遊んだ思い出がある方もおありでしょう。

コゴメガヤツリ・アゼガヤツリ・ヒデリコなどちよつと区別がつきません。

以上数種のものについて述べたがこれらの植物の開花期は春から夏にかけてで今がその最盛期、色とりどりの美しい花たちが葉の緑とほどよく調和して水辺をいろどり、私たちの目を楽ませてくれる。

しかし、視野を広げて市全体を見まわした時、ほんの一月前までは湿地帯や沼であった所が道路や住宅地、工場用地に造成され、水路の整備で小川や池が姿を消し、そこで生を営んでいた私の親友たちが次第にすみかをうばわれつ、あるといふ現状をまのあたりに見て淋しく、悲しく思うのは私ひとりだけであろうか。

(東海中 山口けい子)



モウセンゴケ

事故のために入院し、母親らしいことがしてやれない悲しさに勤めることを断念しようと思つたことが、何度あつたかしれません。しかし、私が、学級経営などで悩んでいる時、主人からいろいろと教えてもらうことも多く、同じ職業を持つているからこそ、お互いに助け合つていけるのだと、そのよさも感じております。最近では、子どもが、「おかあさん、学校で飼うメダカをつかんできてあげるよ。」と、私の手助けをしてくれるまでに成長しました。母としての目でクラスの子どもたちが見られる喜びを感じ、まわりの方々に助けられながら、楽しい日々を過ごしています。

●認めあえた二十年め

平川 和男

ちよつと遅く、七時五〇分頃帰宅。

「ごはん済んだよ。おとうさんの分残しておいた。」

大きなすし桶の隅に鉄火巻六こ。長男高校三年受験勉強・二男高校一年野球部。全部食べたいところだつただろう。

「おかあさんは?.....」

「家庭科の世話係会で遅くなるつて。」近頃、すし桶の世話になることが多くなつた。職場でたくさん仕事を与えられるような年齢になつたということか。休日出勤、超勤時間がお互いにふえてきた。幸い、子どもたちは母親の立場に協力的。ともばたらき二十年、やつとマイペースで仕事に集中できるようになつた。静かなムードで、独酌 (岡崎小)

岡崎の教育60年点描



大正五年七月一日土曜日 雨七十八度
 一、午前四時半尋六以上旧連尺校舎ニ集合
 午前五時龍城神社ニ於テ執行ノ市制実
 施奉告祭ニ参列セリ時ニ雨激シカリシ
 モ無事終了ス。

二、午前八時全校児童ヲ学校ニ召集各教室
 ニ於テ各受持ヨリ市制実施ニ関シ必要
 ナル講話ヲナス。
 三、更ニ南舎廊下ニ全校児童ヲ集メ尋一、
 二高女(右)尋三、四、五、六、高男(左)学
 校長講話、市歌ノ合唱ヲナス。

四、明后三日講演会聴講ノコト、皇太子殿
 下奉送迎尋六以上通知ノ出来ル限り出
 席ノコト。

大正五年七月一日土曜日

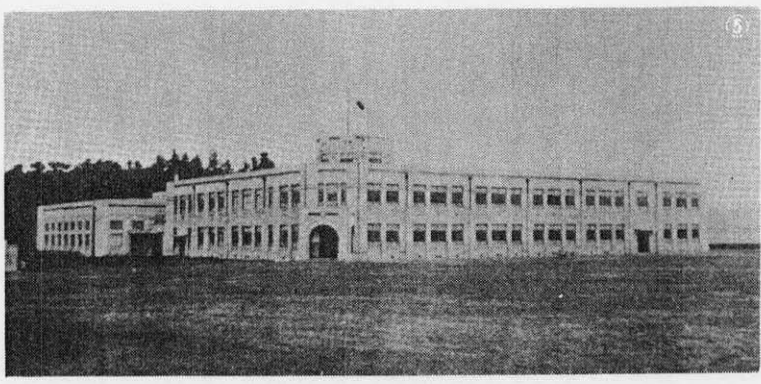
梅園尋常学校

大正五年四月

學校日誌

出男	出女	出小計	入男	入女	入小計	合計
...

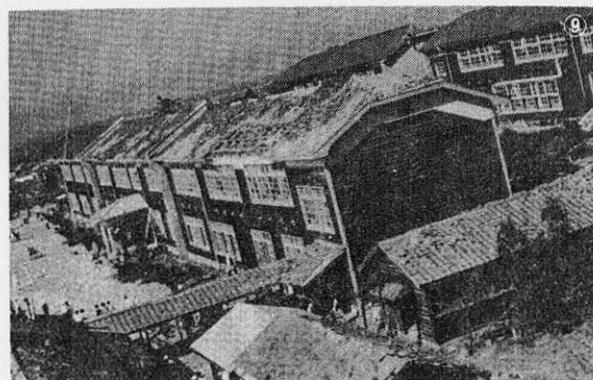
記
 二、午前八時全校児童ヲ学校ニ召集各教室
 ニ於テ各受持ヨリ市制実施ニ関シ必要
 ナル講話ヲナス。
 三、更ニ南舎廊下ニ全校児童ヲ集メ尋一、
 二高女(右)尋三、四、五、六、高男(左)学
 校長講話、市歌ノ合唱ヲナス。



- ① 大正五年七月一日、市制施行当日の学
 校日誌(梅園小)
- ② はかまを着けて、はだして剣道の練習
 (大正六年頃)
- ③ 福岡小学校の劳作教育、グループ学習
 等、全国に名をはせた。(明治初期)
- ④ 戦地の兵士へ慰問袋を送る。キャラメ
 ル、手紙などをつめて。(昭和六年頃)
- ⑤ 東洋一を誇る三島小の鉄筋校舎。戦災
 を受け改修、学芸大となり、現存。

国策に沿って練成・奉仕活動が強まる。稲刈り作業、イナゴ駆除、米俵作りなどから、出征帰還兵士の歓送迎、戦没軍人の遺骨迎えまで参加。古くぎひとり二本以上供出とかアルミ貨回収など子どもの力も大いに期待されていた。

戦災により連尺・男川・羽根小は全焼。三島・根石小は半焼。子どもは学業よりもまず生活のために働き欠席児続出。青空教室、二部授業、教科書不足等の中で新学制施行。新教育の理想を高く掲げて岡崎の教育は再出発。



- ⑥オリンピック選手を迎えてプール開き(連尺小・昭和12年)
- ⑦復興の穂音高小校舎建設に子どもも一役(昭和21年)
- ⑧間借りの新制中学も2年後にやっと校舎完成(昭和24年)
- ⑨なまなましい伊勢湾台風のつめあと(昭和34年)
- ⑩完成間近かの市民体育館の前で記念パレード(昭和51年)
- ⑪環境緑化コンクール1位第1号の南中学校(昭和36年)

生徒指導に思う

岩津中 近藤 保

きょう、ぼくは英語の先生にひどくしかられた。それは、ぼくが宿題を忘れたことと、素直さがなかったことだ。先生は「お前だけだ。恥かしくないか」と言った。まだ忘れた子もいるのに腹が立った。数学の宿題で手間とって十一時まで。「忘れてしまった」と言ってしまった。

すると「その態度」とまた、しかられた。腹が立って「英語が何の役に立つ」と言ってしまった。……ほんとうは英語は好きなんだ。カッターとなるとぼくの悪いくせだ。熱心な先生を怒らせてしまえばく自身いやな気持ちになっちゃった。もう少し素直な態度だったらと、くやまれてならない。

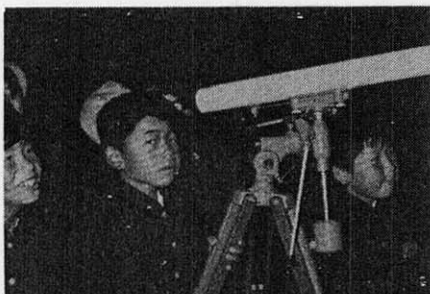
中二の生徒の生活ノートである。私たちは、生徒に向かってかなり不用意なことを発している。日常的な親しみの累積があるのだから、ことばひとつひとつに神経質になる必要はないともいえる。しかし、それにも限界があるろう。親も用いないようなことばを口にしたのでは、教師

から離反する生徒が出てもやむ得ないだろう。

「人間のクズだ」「親の顔が見たい」などは、まことにひどい。それほどでなくても、授業中「こんなことがわからないか」とか「それで高校へ行くつもりか」「こんなできないクラスは初めてだ」など。いわゆる不用意発言がまことに多いのではなからうか。

何を言っても、相手は無抵抗だと思つたら、たいへんな間違いである。

ある調査によれば「ひどくきらいな先生がいる」と答えた生徒の比率は、中二の場合に、男子五一%、女子六二%に達している。ひどく嫌われる理由はさまざまであろうが、中でも「恥をかかされること」が深く生徒の気持ちをも痛めるのであろう。ていねいなことばを使う必要はないが、質の悪いことばはどんな親密な間でも、取りかえしのつかない結果を招くことになるろう。「ことば」は単独では存在しない。相手の心をうつようなことばが使えるように、努力したいものだ。



月没帯食観測の記

奥殿小 筒井善光

午前三時、けたたましい目覚まし時計のベルの音にたたきおこされる。さあ、きょうは部分月食が見られる日だ。しかも月没帯食といって、欠けたまま月が沈んでゆくという、珍しい月食である。ねまきのまま外に出て空をながめてみると、こうこうと輝く月がそこにあった。きょうはよい観測ができそうだと思う。

十五分で仕たくをし学校へ出かける。学校到着は三時三〇分到着後、校舎のかぎをあけていると、自転車に乗った五人の子どもたちがやってくる。この子たちは5kmもはなれたところからやってきたのだ。この子たちと協力して観測に必要なものを準備する。望遠鏡、双眼鏡、カメラ、記録ノート等である。

準備中に他の子たちもかけつけてきて、総勢二十名程になった。三時五十分、準備も完了しいよいよ観測だと思いい月をみてみると、月と山との間の角度が五度くらいしかないのである。願わくば西の方のひらけたところに月が沈んでいってこれないかな、と思っていたが、現実には甘

くはなかった。このままでは丁度欠けはじめる四時十五分頃に山の向こうに沈んでいってしまった。これではいけないと、望遠鏡等をもって学校の東の崖の上に登ってみたが、これは焼け石に水であった。皮肉なことに、欠けはじめと同時に山に沈んだのであった。これで終わってしまったのはおもしろくない、桂野の方で見えるところがあるよ、とのこと、みんなでそちらへ出かけて最後までじっくり観測したのである。いや、これは観測というよりむしろ、観察、または観賞といった方がいいのかもしれない。

満足な月食の観測とはいえなかったが、子どもたちはこんな言葉でなぐさめてくれた。「先生、望遠鏡でもあまり見れなかったし、写真もとれなかったけれど、楽しかったよ」と……。昨年来、国治天文台の協力をうけて理科クラブを中心に天文の研究が続けている。ことしの夏は静岡県の月光天文台に行き、夏の夜空をじっくり観測する計画をたてている。

お知らせ



〔寄贈刊物・資料等〕

◇岡崎文化シリーズ①・同②

岡崎市民大学運営委員会編
現職教育、研究会、市民大学
等の講演記録から、郷土の歴史
や文化を考える資料としても貴
重な十一編を選び、講師の監修
も経て①「民間伝承のこころ」

②「伝統を生かすもの」の二分
冊としたもの。

①は布川清司氏の講演など五
編（二六〇ページ）②には上山春
平氏など六編（二六八ページ）を
収録。いずれも講演会当時の感
銘を呼びさましてくる貴重な
記録。希望者には実費頒布中。

郷土ゆかりの洋画家たち

市制六十周年記念美術展開催

展示する六十余点のいずれも
が日本の美術史を飾る作家のも
の、しかも郷土ゆかりの作家と
いう、市制六十周年記念にふさ
わしい、すばらしい展覧会が市
美術館で開催される。

あり、教職員はもちろん、児童
生徒、家族がそろって鑑賞する
ことで大いに美術への関心を深
める機会にしたいと、主管する
市制六十周年記念展実行委員会
では期待し、準備をすすめてい
る。開催要領は次の通り。

岡崎市民憲章

わたくしたちは、恵まれた自
然と輝かしい歴史にはぐくま
れながら、明日をめざして、
たくましく歩む岡崎市民です。
一、緑と太陽のもと、祖先の
遺産を大切に、美しい心を
みがきます。
二、三河魂の伝統を生かし、

教養を高め、文化の向上に
つとめます。

三、社会のきまりを守り、友
愛を深め、健康なからだを
きたえます。

四、青少年に夢を、老人に安
らぎを、しあわせな家庭を
つくります。

五、勤労に誇りと喜びを、力
をあわせて、豊かなくらし
をささぎます。

二、三河魂の伝統を生かし、

をささぎます。

▼期間 8月7日（土）から8
月22日（日）まで。毎日午前10
時開館▼入場料 一般三五〇円
（前売二五〇円※この場合は家
族券となり、一枚でおとな一名
と小・中学生一名入場可）高
大生一五〇円（一〇〇円）中
学生八〇円（五〇円）小学生三〇円

▼展示内容 二階・郷土ゆかり
の洋画家二十三名の作品六十余
点の展示。一階・県美術館所蔵
の孤高の芸術家藤井達吉の作品
数十点を展示（入場無料）▼前
売申込み 市美術館、市図書館
市教育委員会、勤労青少年ホ
ム、働く婦人会館。

バレーボール招待試合

体育館竣工記念スポーツ大会
の第二弾。7月11日（日）開館
8時。岡崎女子高校対四天王寺
高校、ユニチカ貝塚対日本電装
西尾、シチズン時計対東レ九鱗
会の三試合のほか、市内家庭婦
人のバレーボール集団演技もあ
る。入場無料。

第20回 岡崎市中学校総合体育大会の記録

（昭和51年5月16日）

種目	性別	成績			
		優勝	2位	3位	3位
陸上競技	男	葵	矢作	甲山	山
	女	甲山	城北	矢作	城北
バスケットボール	男	美川	矢作	城北	南
	女	矢作	葵	南	美川
バレーボール	男	甲山	岩津	城北	矢作
	女	矢作	城北	福岡	葵
庭球	男	矢作	南	美川	常磐
	女	矢作	東海	岩津	六ツ美
卓球	男	竜海	矢作	城北	葵
	女	竜海	六ツ美	南	河合
体操競技	男	甲山	東海	竜海	葵
	女	南	葵	竜海	葵
ハンドボール	男	美川	城北	六ツ美	葵
	女	六ツ美	岩津	美川	葵
剣道	男	城北	甲山	東海	常磐
	女	東海	矢作	南	葵
柔道	男	美川	竜海	葵	葵
	女	甲山	葵	城北	矢作
ソフトボール	男	福岡	南	美川	葵
	女	福岡	南	美川	葵

●個人成績

陸上競技

男子記録				女子記録			
氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
1年 100m	12' 9	萩野 竜也	葵	1年 100m	14' 6	岩見 孝子	甲山
100m	11' 8	佐藤 見一	葵	100m	13' 2	辻村 直美	城北
200m	24' 6	牧 能成	葵	200m	○28' 1	杉山 好子	甲山
800m	○2' 12' 6	鳴井 郁夫	葵	80m H	13' 0	飯田 絹子	城北
3000m	9' 59' 4	武居美佐夫	甲山				
100m H	15' 5	田畑 幸夫	竜海				
800m R	1' 44' 2	葵		400m R	55' 2		甲山
低 400m R	53' 0	岩津		低 400m R	59' 3		城北
走 幅 跳	5 m 94	佐藤 見一	葵	走 幅 跳	4 m 88	蜂須賀優子	甲山
走 高 跳	1 m 60	宮嶋 幸男	香山	走 高 跳	1 m 35	杉山山好子	甲山
砲 丸 投	○ 13 m 72	太田 勝己	矢作	砲 丸 投	10 m 69	山本 初美	東海

○印 新記録

体操競技

男子			女子			
氏名	校名	氏名	校名	氏名	校名	
器械総合	甲山			器械総合	南	
団体徒手	葵			団体徒手	南	
個人総合	久世光一	甲山		個人総合	都築 惠 味	南
床	久世光一	甲山		床	都築 惠 味	南
鉄 棒	久世光一	甲山		平均台	都築 惠 味	南
跳 箱	久世光一	甲山		跳 箱	都築 惠 味	南



所在地 — 岡崎市福岡町岩ヶ崎

じゃまくら石 (蛇枕石)

福岡町字岩ヶ崎にある。市の中心部から西尾街道を南に向かつて数キロ走ると福岡町のわずか手前右手に御堂山がある。そのお寺の石柱に「蛇枕石」の文字が見える。

この地は、昔三面水にのぞんで岬をなしていた。ここに岩ヶ崎彈正という武士の妻がいたが、夫彈正が妾を愛するのを恨み、悲しみと怒りのあまりついに館の北の水の中に入って大蛇と化した。蓮如上人が土呂に止宿して化尊された時、毎夜あやしい一婦人が上人の前に来て法を聴聞

していたが、ある夜上人にわが身の過去を話し、上人によって蛇身を脱する時期を得たことをよろこび、明朝自分の本身を現わします、と言って立ち去った。明朝、岩ヶ崎の北岸に異様な波がたつたとみるうちに、大蛇が一匹おどりあらわれ、巨岩に枕したと見るうちに、たちまち天女が昇天し、ぬげがらはそのまま残されたと伝えられ、現在も御堂山に保存されている。また、じゃまくら石は、御堂山下鈴木自動車横の沼におとずれる人もなくひっそりと沈んでいる。

カット

矢作西小 安田明義

この本を

知的生活の方法	渡部 昇一
講談社現代新書	¥ 370
薫村・一茶	清水 孝之
角川書店	¥ 1500
芸術家の肖像	小林 秀雄
白凰社	¥ 1150
先祖の話	柳田 国男
筑摩書房	¥ 900
失われた教育	富山小太郎他
二玄社	¥ 750
この歳月	清水幾太郎
中央公論社	¥ 1600
足もとと提灯	水上 勉
家の光協会	¥ 880
整理学	加藤 秀俊
中公新書	¥ 340
学校・これからどうなるか	村井 実
日本放送協会	¥ 380
辛夷の花	秋山 加代
文芸春秋	¥ 1200

けんじつの地歩日に継がんでいる。時あたかも市制施行六〇周年をむかえる。まさに新しい堅実にむかつての躍進と発展が期待される好機である。しかし、その原動力は市民ひとりひとりにあることを銘記したい。奮えよわれら。

けしごむ

ご(午後)三時、子どもたちは緊張の六時間を終わってホッと一息つく時。われわれ教師もせめて一服したい時。しかし現実はいささしい。一日の中でいささかあわただしさを感じる時である。だが反面児童生徒と深く接触でき、教師としてのよろこびを感じられる時でもある。時間に追われず時間を追いかける教師でありたい。

し(詞)集「たいまつ」の中で、むのたけじ氏は、「燃えあがらなければ、石炭もただの黒い石。立ちあがらなければ、人間はサルより低い。」という。一学期のしめくりの月を迎えた。教室の子どもたちは、二本の足で自ら立ち、本音でものを言わずにはいられないような活気があっただろうか。

む 無為無策と無気力とでは、語意上、若干の相違はあるが、人の思想や行為の上では大した違いはない。ところで、戦後の急激な社会構造の變化と、生活の近代化は、人をたい魔的・せつな的にしてしまい、昭和元録とさえいわれている。今こそ、教師ひとりひとりが、昭和の新井白石となりたい。